SP3000M

Astell&Kern

INSTRUCTION BOOK

ユーザーガイド

Dreamus

目次

はじめに _01

パッケージの内容 02
各部の名称 03
電源管理 05
充電 06
接続 07
ファームウェアのアップデート 12

本製品の使い方 _02

基本操作 13
ホーム画面 16
メニューカテゴリ画面 17
メインメニュー画面 19
音楽プレイヤー画面 20
通知バー 23
Open APP サービス 25
AK Connect 26
AK File Drop 31
音楽を聴く 33
プレイリストの管理 36
VU メーター 39
ReplayGain 40
USB DAC の取り付け 41
USB オーディオの使用方法 42
CD リッピング 43
AK CD プレーヤー 45
CARモード 46
ブックマーク機能 47
お気に入り機能 48
設定 49
Wi-Fi に接続する 56
Bluetooth を使用する 57
イコライザーの設定 60

補足 _03

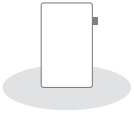
安全上のご注意 62
トラブルシューティング 64
著作権 65
認証 66
登録商標 67
免責事項 68
仕様 69

パッケージの内容

パッケージの内容は、製品の性能や品質向上のために予告なく変更されることがあります。



SP3000M



保護フィルム



micro SDカード
スロットカバー



Type-C USB ケーブル



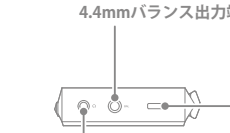
クイックスタートガイド
/ 製品保証書

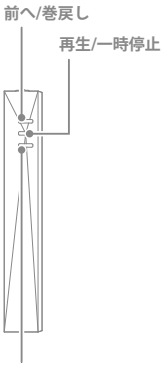
保護フィルム	本体および画面を保護するものです。
micro SDカードスロットカバー	microSDカードを使用しない時のスロットカバー代わりになるダミーカードです。
Type-C USB ケーブル	タイプCに接続できないPCに接続する場合は、別の変換アダプタを使用してください(変換アダプタはコンポーネントに含まれていません)。
クイックスタートガイド / 製品保証書	製品に関する簡易マニュアルです。製品保証書は修理依頼時に必要となりますので大切に保管してください。

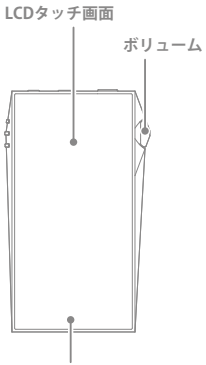
ユーザーガイド: ユーザーガイドは、iriver.JPの Web サイトからダウンロードできます。http://www.iriver.jp/で「 Support 」[Download] の順に選択してください。

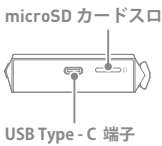
各部の名称

製品の外観と印刷および刻印内容は、モデルによって変更される場合があります。









4.4mmバランス出力端子(5極)	4.4mmバランスオーディオ接続に対応する、イヤホン/ヘッドホンを接続して音楽を聴くことができます。
電源ボタン	ボタンを押す：画面のオン/オフを切り替えます。 ボタン長押し：本体の電源のオン/オフを切り替えます。
ボリューム	ボリュームホイールを回して音量を調節します。
3.5mmアンバランス出力端子	イヤホン/ヘッドホンを接 続して音楽を聴くことができます。
前へ/巻き戻し	短く押すと前の曲を再生します。 長押しすると巻き戻しになります。 ※再生している場合は、曲の頭出し再生となります。
再生/一時停止	短く押すと、再生/一時停止します。
次へ/早送り	短く押すと次の曲を再生します。 長押しすると早送りになります。
LCDタッチ画面	表示されている画面に軽くタッチして操作を行います。
ホームボタン	ホームボタンを押すと、ホーム画面を表示します。
microSD カードスロット	microSDカードを本製品に挿入し、カード内のファイルを読み取ります。
USB Type-C 端子	データ転送及び本製品の 充電などに使用します。

電源管理

電源をオン/オフにする

1. 本製品の [電源]ボタンを長押しして、電源をオンにします。
2. 本製品をシャットダウンするには、本製品の電源がオンのときに [電源] ボタンを長押しします。確認メッセージが表示されます。
3. [OK] を押すと、本製品の電源がオフになります。

本製品には、バッテリーの消費を抑える自動シャットダウン機能が付いています。一定の期間、ユーザーの入力がないと、本製品の電源がオフになります。この 期間は、[メニュー – 設定 – 電源とバッテリー – 自動電源オフ] で設定します。(54 ページを 参照)

画面をオン/オフにする

1. 画面がオンのときに [電源]ボタンを短く押すと、画面がオフになります。
2. [電源] ボタンをもう一度短く押すと、画面がオンになります。

本製品には、バッテリーの消費を抑える自動タイムアウト機能が付いています。一定の期間、ユーザーの入力がないと、画面がオフになります。この期間を設定するには、[メニュー]、[設定]、[ディスプレイ]、 [画面オフ]の順に移動します。(53 ページを参照)

機能をリセットする

1. 本製品の使用中に予期しない障害が発生したり、本製品が使用不能になった場合は、[電源]ボタンを 7 秒間押してください。
   強制的にシャットダウンします。
   シャットダウン後、本製品が再起動します。

本製品をリセットしても、保存されているデータや時間の設定には影響を及ぼしません。
本製品の動作中はリセット機能を使わないでください。本製品のデータが破損する可能性があります。

充電

1. USB－ACアダプタでの充電

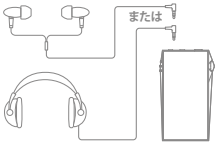
・別売りのQC 3.0アダプターを購入して充電できます。

高速充電: 約 3.5時間 (完全放電、電源オフ、9V 1.67A アダプタ使用時)
/通常充電: 約 5時間 (完全放電、電源オフ、5V 2A アダプタ使用時)
5V 2A / 9V 1.67AのQC 3.0アダプターの使用がお勧めです。
9V/1.67Aを超える定格の充電器を使用すると、正常に動作せず、
製品を破損したり故障の原因となる可能性があります。
製造元は、推奨仕様に準拠していないアダプターの使用によって発
生した問題については責任を負いません。

接続

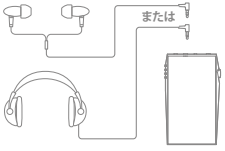
3.5mm アンバランス端子に接続する

1. 3.5mm アンバランス端子にイヤホンまたはヘッドホンを接続します。



4.4 mm バランス端子に接続する

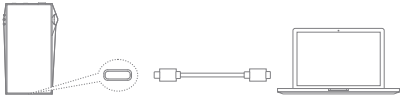
1. 4.4mmバランス端子にイヤホンまたはヘッドホンを接続します。



パソコンに接続する

1. 本製品とパソコンの電源を入れます。

2. 本製品を Type-C USB ケーブルで PC に接続すると、[メニュー - 設定 - USBモード] の設定が使用されます。
   - メディアデバイス (MTP): パソコンから本製品にファイルを転送します。
   - DAC 入力: 接続したパソコンにある音楽を本製品で聴くことができます。(40 ページを参照)



Macデータの転送にはAndroid File Transferなど別途ソフトウェアが必要です。
Astell&Kern から直接Macデータ転送ソフトウェアを配布することは致しかねます。
また、ソフトウェアの使用（インストールを含む）に関しましては、当社ではサポート致しません。
ご利用に関してはご使用になるソフトウェアの配信元に確認してください。
最適な接続を行うため、本製品とパソコンを接続する前に、不要なプログラムをすべて終了してください。
本製品に付属の Type-C USB ケーブル以外は使用しないでください。
Mac の場合、USB 2.0 のみを使用してください。
DXD または DSD ファイルの再生中に USB を接続すると、モードを選択するモード選択ポップアップが表示されます。
- **外部デバイスの接続: MTP、USB オーディオ、CD リッパーを接続します。**
- **デバイスの充電：デバイスを充電する。**

＊注：Macにてデータを転送する場合は、一度に多くのデータを転送しないでください。

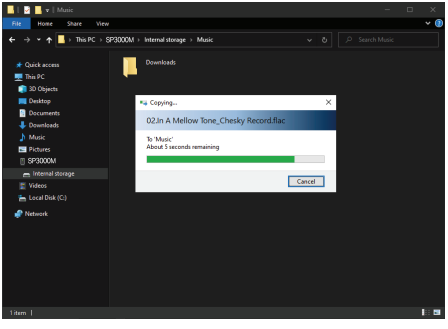
パソコンから取り外す

1. Type-C USB ケーブルを取り外す前に、本製品とパソコン間でデータ転送が完了していることを確認してください。

動作中（ファイルの転送など）に取り外すと、本製品のデータが破損する可能性があります。

本製品にファイル/フォルダーをコピーする

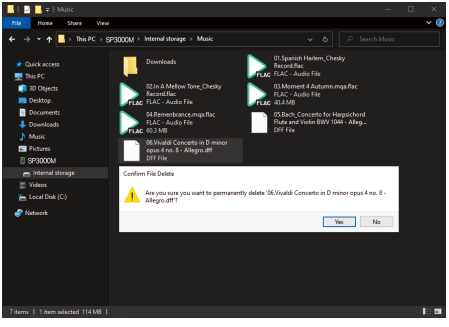
1. パソコンからファイル/フォルダーをコピーするには、必要なファイル/フォルダーを選択して、デバイスのフォルダーにドラッグアンドドロップします。



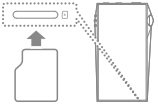
Type-C USB ケーブルを正しく接続します。
ファイル/フォルダーのコピーまたは移動中に本製品の電源を切ったり、Type-C USB ケーブルを取り外すと、メモリーに重大な損傷が生じる場合があります。
ファイルの転送速度は環境 (パソコンや OS) によって異なります。

本製品のファイル/フォルダーを削除する

1. 削除するファイル/フォルダーを選択し、右クリックして [削除] を選択します。
2. [ファイル/フォルダーの削除確認] ウィンドウで [はい] を選択して、ファイル/フォルダーを削除します。

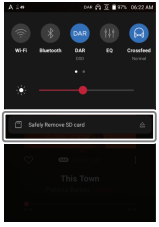


microSD カードを挿入する/取り外す



1. 図のように、microSD カードスロットに microSD カードを軽く押して挿入します。
2. microSD カードを安全に取り外すには、ホーム画面で通知バーの [SD カードを安全に取り外す] を選択するか、[メニュー - 設定 - システム情報] から [SD カードのマウント解除] を選択します。

3. microSD カードを軽く押してロックを解除し、スロットから取り外します。



推奨 MicroSD カード

MicroSD: SAMSUNG, Sandisk

最大容量: 1.5TB。

microSD カードの挿入時の注意事項

- **microSD カードを無理に挿入しないでください。本製品の誤動作やカードの破損の原因となります。**
- **microSD カードの挿入と取り外しを繰り返し行わないでください。**
- **microSD カードが正しく挿入されていない場合、製品の誤動作の原因となります。また、カードの取り出しができなくなる可能性があります。**

microSD カードの取り外し時の注意事項

- **microSD カードを本製品から必ず安全に取り外してください。正しい手順に従わないと、データが破損したり、システムに重大な損傷が生じる場合があります。**
- **microSD カードの使用中にカードを取り外さないでください。microSD カードの誤動作や損傷の原因となります。また、データが削除される可能性もあります。**

microSD カードの使用時の注意事項

- **microSD カードが認識されない場合や正常に動作しない場合は、カードをフォーマットしてください (FAT32 システムを推奨)。**
- **推奨 microSD カード以外のカードを使用すると、誤動作の原因となります。**
- **microSD カードは本製品パッケージに同梱されていません。別途お買い求めください。**

ファームウェア アップデート

Wi-Fi 接続時のアップデート/OTA (Over-the-Air)

1. 無線ネットワークに接続します。
2. 新しいバージョンのファームウェアが使用可能になると、画面に [ファームウェアアップデートガイド] ウィンドウが表示されます。
3. [アップデート] を選択して、アップデートする項目を選択します。
4. 画面の指示に従って、ファームウェアをアップデートします。

Wi-Fi 接続の詳細については、56 ページを参照してください。
バッテリーの残量が少ない場合、ファームウェアのアップデート は開始しません(20% 以上の残量が必要です)。
ファームウェアのアップデート中に無線ネットワークを切断しないでください。データが破損したり、システムが損傷する可能性があります。
アップデート 中にエラーが発生したり、通知バーの通知が消えた場合には、[メニュー – 設定 – アップデート – システムアップデート] でファームウェアのアップデートを再度ダウンロードしてください。

基本操作

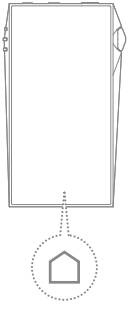
LCD タッチ画面

1. 本製品は、画面に直接タッチして操作する LCD タッチ画面を採用しています。
   画面をタッチすることで様々な機能を実行できます。

画面の損傷を防ぐため、先の尖ったもので画面にタッチしたり、無理な力を加えないでください。

ホーム画面に戻る

1. [⌂] を押すと、いつでもホーム画面に戻ることができます。

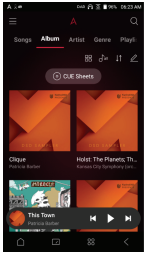




メニュー

1. [右 ➡ 左]方向に画面をスワイプするか、右上の[ ]を押してメニューカテゴリに移動します。



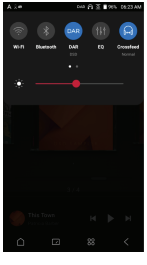


別売のAK-CD-RIPPERを使用して、リッピングしたデータは内部メモリのRippingフォルダに保存され、CDライブラリーメニューに表示されます。

通知バー

1. タッチ画面の上端から下にスワイプすると、通知バーが表示されます。

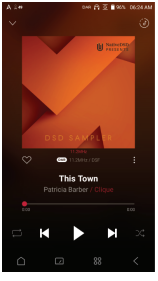




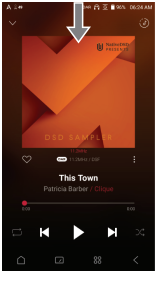
ミニプレイヤー画面

1. ミニプレイヤー画面を上にスワイプするか、ミニプレイヤー画面をタップすると音楽プレイヤー画面に移動します。



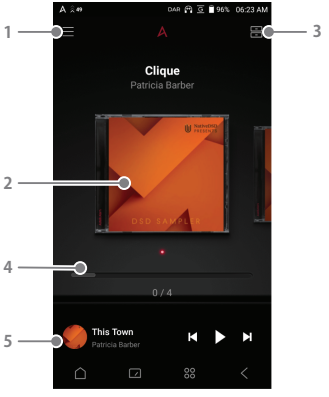


2. 音楽プレイヤー画面を下にスワイプするか、左上の[V] を押すとホーム画面に移動します。



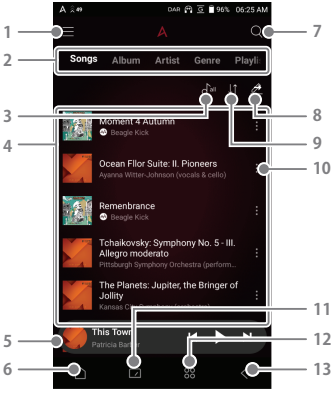


ホーム画面



1	☰	**メニュー**	サービスなどのメインメニューを表示します。
2		**アルバムアート**	アルバム画像を押すとアルバムが開きます。
3	⊟	**メニューカテゴリ**	右上の[⊟]を押すとメニューカテゴリ画面が開きます。
4		**アルバム検索バー**	下のバーを使用して他のアルバムを開けます。
5		**音楽プレイヤー画面**	ミニプレーヤー画面を操作して音楽プレーヤー画面に移動します。

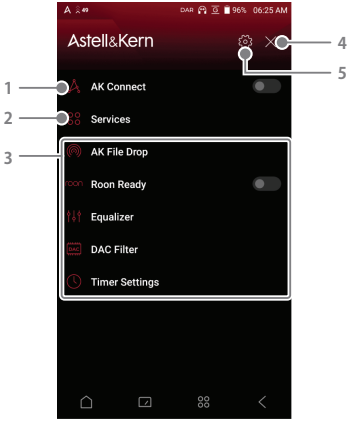
メニュー カテゴリ 画面



1	☰	**メニュー**	サービスなどのメインメニューを表示します。
2		**カテゴリー**	右から左へスワイプしてカテゴリーを切り替えます。
2-1	⇋	**ホーム/カテゴリ設定**	ホーム画面のカテゴリ設定やメニューのカテゴリの順序を変更します。
3	♪all	**すべて再生**	選択したカテゴリーの曲をすべて再生します。
4		**音楽リスト**	現在のカテゴリーのプレイリストを表示します。
5		**音楽プレイヤー画面**	現在の曲を表示します。

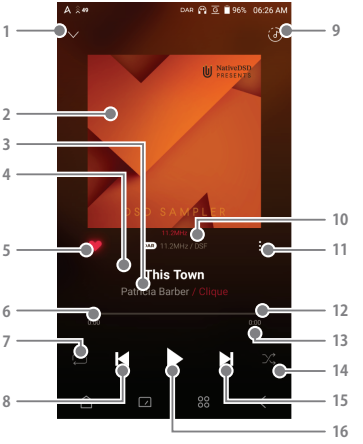
6 **ホーム画面**	ホーム画面に移動します。
7 **検索**	キーワードを入力すると、検索語句を含む曲の一覧が表示されます。
8 **編集モード**	プレイリストの編集オプションを表示します。
9 **並び替え**	プレイリストの並び替えオプションを表示します。
10 **その他**	選択した曲のその他メニューへ移動します。選択したカテゴリーに応じて、表示されるアイテムは異なります。 : 選択した曲を次に再生する : 選択した曲を最後に再生する : 選択した曲をプレイリストに追加する : 選択した曲を削除する
11 VU メーター	VUメーターを起動します。
12 **サービス**	サービスアプリの一覧を表示して、アプリをインストール/実行できます。
13 **前の画面**	前の画面に戻ります。

メインメニュー画面



1	**AK CONNECT**	AK Connectを有効/無効にして、ライブラリとスピーカーオプションを設定します。
2	**サービス**	サービスアプリの一覧を表示して、アプリをインストール/実行できます。
3	**主な設定**	イコライザなどの機能を設定します。
4	**メニューを閉じる**	メニュー一覧を閉じて、前の画面を表示します。
5	**設定**	様々な設定メニューを表示します。

音楽プレイヤー画面

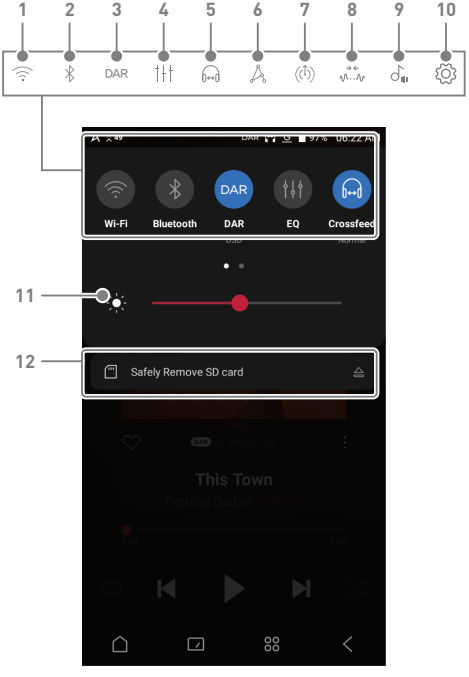


1	﹀	前の画面	前の画面に戻ります。
2		アルバムアート	タグ情報に埋め込まれた、アルバムアートを表示します。
3		アーティスト	アーティスト名が表示されます。
4		楽曲タイトル	曲のタイトル情報を表示します。 タイトルが使用できない場合は、ファイル名が表示されます。
5	♥	お気に入り	お気に入りに音楽を登録したり、お気に入りから音楽を削除したりできます。
6		現在の再生時間	現在の再生時間を表示します。

7	**リピートモード**	リピートモードを設定します。 ：現在再生しているプレイリスト内の全ての曲をリピート再生します。 ：現在再生中の1曲をリピート再生します。 ：リピート再生モードを解除します。
8	**前へ/巻き戻し**	軽くタッチし前の楽曲へ移動します。 長押しし、再生中の楽曲を巻戻しします。
9	**再生中**	現在のプレイリストを表示します。
10	**ビットレート/サンプリングレート**	再生している楽曲のビットレートとサンプリングレートを表示します。
11	**その他**	現在の曲でその他メニューへ移動します。 プレイリストに追加：現在の曲をプレイリ ストに追加します。 アルバムに移動：現在の曲を含むアルバムへ移動します。 アーティストに移動：現在の曲のアーティストへ移動します。 フォルダに移動：現在の曲を含むフォルダーへ移動します。 ファイル情報：現在の曲の情報を表示します。
12	**ステータスバー**	現在の再生時間が表示されます。 ステータスバーをドラッグして、 希望の再生時間に移動します。

13	**総再生時間**	楽曲の総再生時間を表示します。
14 ⤮	**再生モード**	再生モードを設定します。 ⤮ : ランダム再生 ⤮ : 順次再生
15 ▶|	**次へ/早送り**	軽くタッチし次の楽曲へ移動します。 長押しし、再生中の楽曲を早送りします。
16 ▶/II	**再生/一時停止**	再生中にマークをタッチすると一時停止、 再度タッチで再開します。

通知バー


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
DAR
Wi-Fi
Bluetooth
DAR
EQ
Crossfeed
11
12
Safely Remove SD card
This Town

1		**Wi-Fi**	[ ] を押すと、Wi-Fi 機能のオン/オフ切替えができます。
2		**Bluetooth**	[ ] を押すと、Bluetooth 機能のオン/オフ切替えができます。
3	DAR	**デジタルオーディオリマスター**	サンプルレート変換を有効にすることができます。
4		**EQ**	[ ] を押すと、イコライザー機能のオン/オフ切替えができます。
5		**Crossfeed**	Crossfeed をオン/オフにして、クロスフィードオプションを選択できます。
6		**AK CONNECT**	AK CONNECT機能をオン/オフ切替えできます。
7		**Line-out**	ライン出力機能をオン/オフ切替えできます。
8		**ギャップレス**	[ ] を押すと、ギャップレス再生のオン/オフ切替えができます。
9		**ReplayGain**	ラウドネスレベルの音量レベルを設定することができます。
10		**設定**	設定リストが表示されます。
11		**明るさ**	調整バーで画面の明るさを調節します。
12		**通知画面**	この領域に通知が表示されます。

[/ / / / /] を長押しすると、対応する画面に移動します。

Open APP
サービス

Open APPサービスを使用すると、アプリをインストールすることができます。
APKファイルを本製品のOpen Serviceフォルダにコピーし、本製品の「メニュー」
→「サービス」からアプリをインストールできます。

詳しくは、下記URLをご確認ください

https://www.iriver.jp/support/faq_974.php

OpenAPPサービスを利用する際、
アプリ等によっては、機器が損傷する場合がございます。
インストールして各製品で使用できるアプリには、ソフトウェアバージョン
などが理由で制限が課せられる場合があり、返品や返金の対象外となります。
また、ご使用した場合、弊社（アユート）に 記載されております
利用規約及び免責事項に同意したとみなされます。

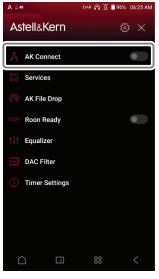
https://www.iriver.jp/support/faq_974.php

AK CONNECT 機能

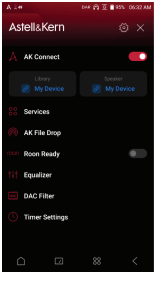
同じネットワーク上のパソコンに保存されている音楽ファイルにアクセスして再生し、AK Connectと互換性のあるスピーカーで出力できます。

AK Connect を使用して音楽ライブラリ/スピーカーに接続する

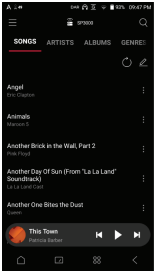
1. 音楽ライブラリデバイス/スピーカーと AK プレーヤーの電源をオンにします。
2. すべてのデバイスを同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。
3. 通知バーの [ ] を長押しするか、[メニュー - 設定 - AK CONNECT] を選択して、AK CONNECT 機能を有効にします。



4. 接続するライブラリ/スピーカーを選択します。
5. AK プレーヤーと同じネットワーク上にあるライブラリ/スピーカーの一覧が表示されます。
6. 接続するライブラリ/スピーカーを選択します。



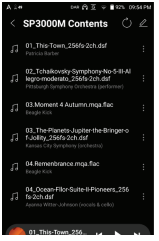
7. ライブラリ/スピーカーを選択したら、
メニューからカテゴリを選択します。
該当する音楽リストが表示されます。



Wi-Fi 接続の詳細については、56 ページを参照してください。
スピーカーへ接続したら、画面の左上で[←]ボタンをタップして接続をキャンセルします。

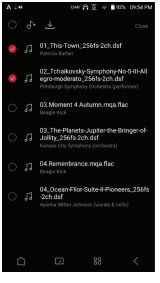
ライブラリから音楽をストリーミングする

1. サーバーのメニューで検索オプションを選択して、音楽リストを表示します。
2. ストリーミングを開始する曲を選択します。



ライブラリから音楽をダウンロードする

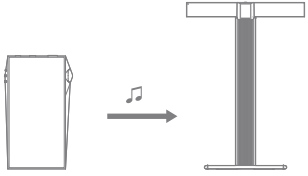
1. ライブラリ メニューからカテゴリを選択して、音楽のリストを表示します。
2. 音楽リストの右上隅にある [✎] ボタンを押します。
3. 目的の音楽を選択し、[⬇] を押してダウンロードを開始します。
   - 曲は設定 > ダウンロードで設定した場所に保存されます。
   - ダウンロードの完了を示すメッセージが通知バーに表示されます。



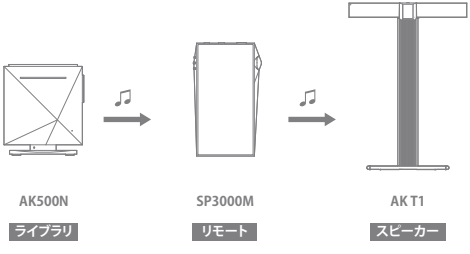
プレイリストの右で[⋮]をタップして、キュー内で選択した曲の位置を選択したり、曲を直接ダウンロードできます。
ネットワーク条件によっては、曲の読み込みに時間がかかったり、ストリーミングが途切れる場合があります。
他のプロセスのためにライブラリを使用すると、ライブラリの応答時間が低下する場合があります。
ストリーミング再生とダウンロードを同時に行うと、Wi-Fiネットワークまたはサーバーの速度によっては、デバイスの反応が遅くなります。
ダウンロードを停止するには、ダウンロード中の項目を通知バーでタッチし、ウィンドウに移動します。

AK Connect の使用例

例 1



例 2



例 3



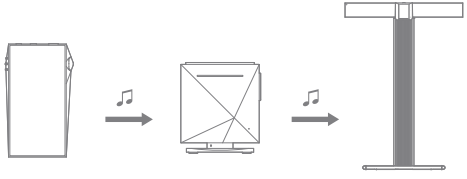
SP3000M

リモートとライブラリ

AK500N

スピーカー

例 4



SP3000M

ライブラリ

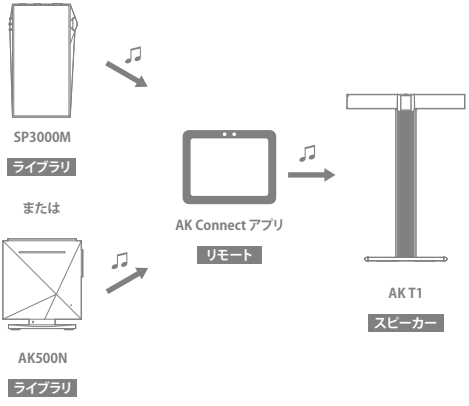
AK500N

リモート

AK T1

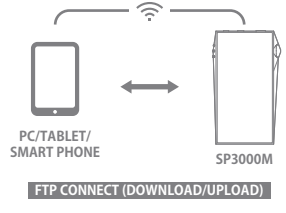
スピーカー

例 5



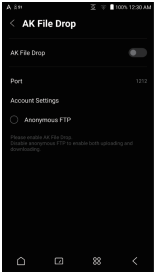
AK File Drop

FTP プログラム経由で SP3000M を使用することで、同じネットワーク上のデバイス（PC、タブレット、スマートフォンなど）間でファイルを自由にアップロードまたはダウンロードします。

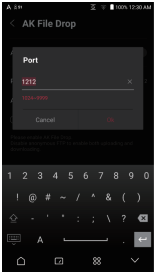


AK ファイルドロップを使用する

1. SP3000Mと希望するデバイスを同じネットワークに接続し、SP3000M で AK ファイルドロップ機能を有効にします。



2. SP3000M に表示されているアドレス、ID、パスワードを、接続するデバイスの FTP プログラムに入力します。
3. 接続されたデバイスを使用して、希望するファイルをダウンロードまたはアップロードします。



匿名FTP経由でログインせずに接続することもできますが、その場合はダウンロードのみか可能になります。
通知パネルにAK ファイルドロップを追加できます。

音楽を聴く

音楽を選択する

1. ホーム画面左端から右へスライドし検索オプションをを表示します。検索項目を選択し楽曲リストを表示させます。
2. 再生する曲をリストから選択します。

[フォルダー]で、音楽を検索するフォルダーを選択します。
連続再生時間: 約 10時間
(音楽: FLAC、16 ビット、44.1khz、アンバランス、音量50、EQ オフ、LCD オフ)
対応フォーマット: PCM 8~768kHz (8/16/24/32bit)
DSD [2.8/5.6.11.2/22.4MHz]

音楽を聴く

- 音量ホイールを回して音量を調節します。
- 再生中に [⏸] を押すと一時停止します。[▶] を押すと、再生を再開します。
- 再生中に [|◀ / ▶|] を押すと、前/次の曲が再生されます。
- 再生中に [|◀ / ▶|] を長押しすると、巻き戻し/早送りを実行でき
- ます。
- 楽曲の再生中に、音楽プレーヤー画面でステータスバーをドラッグして、希望の再生時間に移動します。
- 右上の[♫]をタップすると、現在のプレイリストが表示されます。
- アルバムのアートワークをタップすると歌詞が表示されます。
- [♥]をタップすると現在の曲がお気に入りに追加されます。
- リピートモードを設定します。
  - 🔁 : 現在再生しているプレイリスト内の全ての曲をリピート再生します。
  - 🔂 : 現在再生中の1曲をリピート再生します。
  - 🔁 : リピート再生モードを解除します。
- 再生モードを設定します。
  - 🔀 : ランダム再生
  - 🔀 : 順次再生

- [⋮]をタップすると、現在の曲でその他メニューへ移動します。
  プレイリストに追加：現在の曲をプレイリストに追加します。
  アルバムに移動：現在の曲を含むアルバムへ移動します。
  アーティストに移動：現在の曲のアーティストへ移動します。
  フォルダに移動：現在の曲を含むフォルダーへ移動します。
  ファイル情報：現在の曲の情報を表示します。

プレイリスト画面

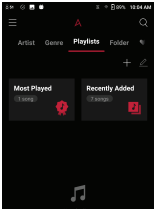
- [⋮]をタップすると、選択した曲のその他メニューへ移動します。
  選択したカテゴリーに応じて、表示されるアイテムは異なります。
  現在再生しているプレイリストに追加されます。
  ：選択した曲を次に再生する
  ：選択した曲を最後に再生する
  ：選択した曲をプレイリストに追加する
  ：選択した曲を削除する
- [all]をタップすると、選択したカテゴリの曲をすべてプレイリストに追加して、すぐに再生します。
- [ ]をタップすると、プレイリストの並び替え順を編集できます。
- 右上の[ ]をタップすると、編集モードが表示されます。
  選択したカテゴリーに応じて、表示されるアイテムは異なります。
  ：選択したリストを、[再生中] の先頭、最後、または現在の曲の後に追加します。
  ：選択したリストをプレイリストに追加します。
  ：リスト全体を選択または選択解除します。
  ：選択したリストを削除します。
  ：再生メニュー内のプレイリスト名の変更
  ：CDライブラリ内のアルバム画像の変更
  すべて設定：終了

- [曲/アルバム/アーティスト] のカテゴリで[🔍]をタップして入力ウィンドウへキーワードを入力すると、検索された語句が名前に含まれるアイテムが一覧表示されます。
  - 検索結果画面の右上で[✎]をタップすると、曲を再生したりプレイリストへ追加できます。
- [フォルダー] カテゴリを選択して、内部/外部メモリーの容量、ファイル/フォルダーの数を確認します。
  - フォルダー一覧の[⋮]をタップすると、選択したフォルダーへブックマークを再生/追加したり、フォルダーを移動または削除できます。
  - ファイル一覧の[⋮]をタップすると、選択したファイルを再生/コピー/移動/タグを編集/削除できます。
  - フォルダーカテゴリー上の[✎]をタップして、ファイルやフォルダーを移動/コピー/削除することもできます。
- [HD Audio] カテゴリで、[HD Audio] タブに 24 ビット以上の MQA, PCM ファイルが表示されます。
  [DSD] タブには DSD ファイルが表示されます。
  - HD Audio: MQA [44.1~384kHz(24 ビット)]
  - HD Audio: PCM [8~384kHz(24/32 ビット)]
  - DSD: DSD [2.8/5.6/11.2/22.4MHz]
- [アーティスト]カテゴリーで[👤]をタップすると、アーティスト/アルバムアーティストの一覧を並べ替えられます。
- アルバム一覧/リスト／アルバムイメージでアルバムリストを並べ替えるには、[アルバム] と [CD ライブラリ] カテゴリを選択した後、上部の[⊞ / ☰ / ▦]を押します。
- カテゴリー右側の[⚙]をクリックすると、再生設定が表示されます。

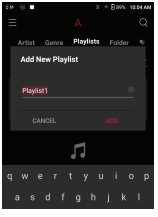
プレイリストの管理

プレイリストを作成する

1. ホーム画面で、[プレイリスト]カテゴリーを選択するとプレイリストが表示されます。
2. 画面の右上隅にある [+] を選択します。

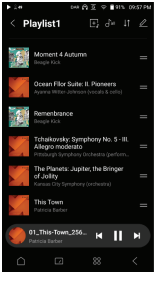


3. プレイリストの名前を入力して [追加] を押し、新しいプレイリストを作成します。



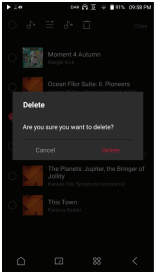
プレイリストに曲を追加する

1. [プレイリスト] を押して、プレイリストの一覧を表示します。
2. プレイリストを選択して、[ ] を押すと[曲/最近追加した項目]が表示され、好みのアイテムを選択できます。
3. 曲を選択して [追加] を押し、選択したプレイリストに曲を追加します。



プレイリストから曲を削除する

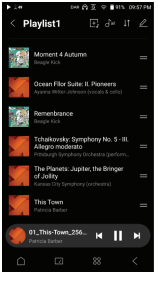
1. [プレイリスト] を押して、プレイリストの一覧を表示します。
2. 編集するプレイリストを選択します。
3. 上部の [ ] を押して、プレイリストから削除する曲を選択します。
4. 画面上部の [ ] を押します。
5. [削除] を押して、選択したプレイリストから曲を削除します。



この操作により、選択したプレイリストからのみ曲が削除されます。メモリーからは削除されません。

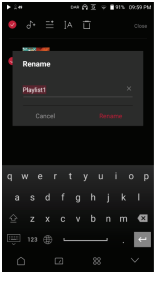
プレイリストを再生する

1. 再生するプレイリストを選択します。
2. 画面右上の [all] を押して、プレイリスト全体を再生します。
3. プレイリストの一部を再生するには、プレイリストの上部の [ ] を押して再生する音楽を選択します。
   プレイリストを現在の [再生中] プレイリストに追加するには、[ ] を押して、選択したリストを、[再生中] の先頭、最後、または現在の曲の後に追加します。



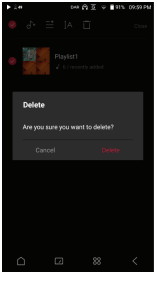
プレイリスト名を変更する

1. [プレイリスト] を押してプレイリストを表示し、[✎] を押します。
2. 名前を変更するプレイリストを選択します。
3. 画面上部の [⎡A] を押して、名前変更ウィンドウを表示します。
4. プレイリストの名前を入力して [名前の変更] を押し、新しい名前でプレイリストを保存します。



プレイリストを削除する

1. [プレイリスト] を押してプレイリストの一覧を表示し、[✎] を押します。
2. 削除するプレイリストを選択します。
3. 画面上部の [🗑] を押します。
4. [削除] を押して、選択したプレイリストを削除します。



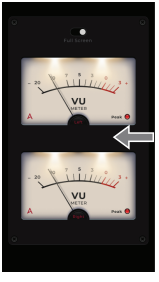
VU メーター

VUメーターの起動

1. ホーム画面で[ ]を押すと、VUメーター画面に切り替わります。



2. 画面上部の[Full Screen]ボタンを押すと、VUメーターが画面全体に表示されます。
3. 画面を[左↔右]にドラッグすると、VUメーターのデザインを変更できます。

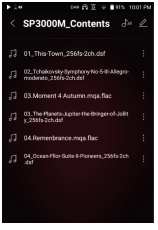


VUメーターをFull Screenモードで長時間実行すると、デバイスが発熱し、バッテリーの消耗を速める可能性があります。
デバイスが過熱した場合、充電器へ接続しても適切に充電しない可能性があります。

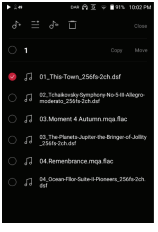
Replay Gain

ラウドネスの調整

1. 音楽リストの上部にある[ ]を選択します。

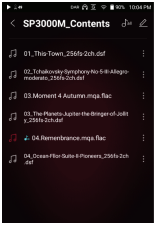


2. 音楽リストから目的の音楽を選択し、上部の[ ]を押すと、調整が開始されます。



3. 音楽リストの中で調整されている曲については、[ ]が表示されます。

4. ReplayGainは、通知バー画面の[ ]をクリック、または[メニュー-設定-ReplayGain]でオン/オフにすることができます。



アルバム、プレイリストまたはフォルダメニューでラウドネスを調整することができます。
ReplayGainは、24bit/192kHz以下のフォーマットにのみ対応しています。

USB DAC 機能

USB DAC 機能を使用すると、パソコン上のサウンドカードとして SP3000M が認識されます。パソコン上の音楽を本製品のイヤホンポート経由で再生できるので、より高音質の音楽を聴くことができます。

USB DACの仕様

- 対応 OS
  - Windows 10/11 (32 ビット/64 ビット)
    OS X 10.7 (Lion) 以降
- USB DAC サポートの仕様
  - 対応フォーマット: PCM [8~768kHz (8/16/32bit)]
    DSD [2.8/5.6/11.2/22.4MHz]
- 音量は SP3000M の音量ホイールで調節します。

設定が対応フォーマットを超えていると、再生できません。
USB DAC 接続時に [前へ]、[再生]、[次へ] は使用できません。
パソコンの処理速度が低下したり、USB 接続の使用率が非常に高くなると、再生が断続的になる場合があります。
音質と動作環境によっては、ビデオ再生中に音声と動画の同期で問題が発生する場合があります。
Windows のボリューム制御では音量を調節できません。音量を調節するには、本製品の音量ホイールまたは適切なプログラムの音量制御を使用してください。
SP3000M を USB DAC として使用するには、ドライバ ーをインストールします。ドライバーファイルは、Web サイトの製品ページ「サポート」タブからダウンロードできます。

USB オーディオの使用方法

市販のポータブルアンプと DAC に接続すると、USB オーディオを楽しむことができます。

ポータブル USB DAC の接続方法

1. 専用のケーブルを使用して、本製品とポータブルDACを接続します。
2. 通知画面で接続完了メッセージを確認できます。
3. 接続すると機能は自動的に有効になり、ポータブルUSB DACのオーディオ出力ジャックを通じて音楽を楽しめます。

本製品に付属の USB Type-C ケーブルは、PC との接続または本製品の充電に使用します。
専用ケーブルの使用方法については、ポータブル USB DAC の取扱説明書をご覧ください。
USB DAC ケーブルは本製品パッケージに同梱されていません。別途購入してください。
使用するOTGケーブルにより接続が不安定になることがあります。
DXD または DSD ファイルの再生中に USB を接続すると、モードを選択するモード選択ポップアップが表示されます。
- **外部デバイスの接続: MTP、USB オーディオ、CD リッパーを接続します。**
- **デバイスの充電：デバイスを充電する。**

USB オーディオの DSD 出力タイプの変更方法

USB オーディオから再生される DSD データの出力タイプを変更できます。

1. [メニュー - 設定 - USB オーディオ] で DSD 出力タイプを選択します。
   - PCM : デバイスの DSD が PCM に変換され、USB オーディオから再生されます。
   - DoP : デバイスの DSD が DoP に変換され、USB オーディオから再生されます。
   - MQA : S/W MQA デコーディングのオプションのアクティブ化オプションは、接続している外部デバイスによって異なる場合があります。各デバイスの仕様を確認してください。

ポータブル USB DAC が、micro USB の OTG からデジタル入力を受信できる必要があります。
ポータブル USB DAC の micro USB のデジタル出力仕様によっては、最適な出力が得られない場合があります。これはデバイスの欠陥ではありません。交換や払い戻しの対象にはなりません。
DSD 出力タイプとして DoP を使用すると、ポータブル USB DAC の仕様によってはノイズしか再生されない場合があります。

CD リッピング

AK CD-RIPPER (別売り) を使用して、CD を本製品に直接リッピングできます。

AK CD-RIPPER を接続する

1. SP3000MのType-C USBポートとAK CDリッパーを専用ケーブルで接続すると、通知画面で使用する機能を選択できます。
2. 設定で機能が自動的に選択されると、その機能が実行されます。

本製品に付属の USB Type-C ケーブルは、PC との接続または本製品の充電に使用します。
CD-RIPPER モデルによっては、専用の USB Type-C OTG ケーブルが製品パッケージに同梱されていない場合があります。
使用する OTG ケーブルによっては、接続が不安定になる場合があります。
DXD または DSD ファイルの再生中に USB を接続すると、モードを選択するモード選択ポップアップが表示されます。
- **外部デバイスの接続: MTP、USB オーディオ、CD リッパーを接続します。**
- **デバイスの変更: デバイスの充電。**

CD Ripper 機能は自動的に選択されます

1.[メニュー - 設定 - CD Ripper - 基本実行] で、自動的に実行する機能を選択します。
2.[CD プレーヤー]/[CD リッピング] 機能を選択します。
3.[接続するたびに選択する] を選択すると、CD を挿入するたびに、機能選択ポップアップが表示されます。

CD リッピング

1. [メニュー - 設定 - CD Ripper - 機能実行 - CD リッピング] で、リッピング機能を選択します。
2. AK CD-RIPPER を接続して CD を挿入します。
3. 挿入した CD のメタデータ (ID3 タグ) が Gracenote から取得されます。
4. メタデータが取得されると、CD リッピングが自動的に開始します。
5. リッピングが完了したら、結果を表示する画面で [OK] を押し、CD の自動リッピングを終了します。

CD リッピング結果

- ●: CD リッピングが完了しています。あるいは、処理中にエラーが発生しましたが、エラーを訂正して CD リッピングが完了しています。
- ×: ユーザーの操作でリッピング中の曲がキャンセルされました。
- **!**: CD に傷があるか、類似した原因で CD リッピングに失敗しました。あるいは、ユーザーの操作で CD リッピングがキャンセルされました。

Gracenote データベースを検索するには、本製品を Wi-Fi に接続する必要があります。ネットワーク環境によっては、データベースに接続するまでに時間がかかる場合があります。
CD のメタデータが Gracenote データベースに登録されていない場合もあります。
CD リッピングの実行中はホーム画面にアクセスできません。
CD リッピングの実行中は AK Connect サービスが無効になります。CD リッピングが完了すると、サービスは自動的に再開します。
リッピング中、音楽の再生はできません。
メニュー > 設定 > CD リッピングメニューからリッピングの速度を選択できます。選択した速度によっては、再生中にノイズが発生する場合があります。
[メニュー - 設定 - CD リッピング - エラー訂正] で訂正機能を有効にすると、エラーのあるデータに訂正処理が実行されます。 この機能を有効にすると、CD リッピングの速度が遅くなります。

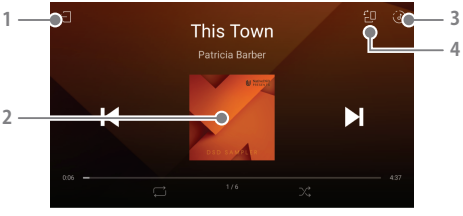
AK CD プレーヤー

AK CD プレーヤーの機能を使用する

1. 専用ケーブルで、SP3000M の USB タイプ C ポートと AK CD-RIPPER を接続して、CD プレーヤーを使用します。
2. CDを挿入したら、通知画面で使用する機能を選択してください。
3. 設定で機能が自動的に選択されると、その機能が実行されます。

本製品に付属の USB Type-C ケーブルは、PC との接続または本製品の充電に使用します。
CD-RIPPER モデルによっては、専用の USB Type-C OTG ケーブルが製品パッケージに同梱されていない場合があります。
使用する OTG ケーブルによっては、接続が不安定になる場合があります。
Gracenote データベースを検索するには、本製品を Wi-Fi に接続する必要があります。ネットワーク環境によっては、データベースに接続するまでに時間がかかる場合があります。
CD のメタデータが Gracenote データベースに登録されていない場合もあります。
一般的なオーディオ CD および MQA-CD 再生はサポートされますが、MP3-CD は再生されません。

CARモード



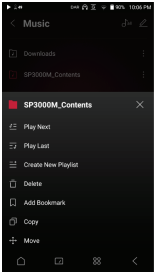
1	**終了**	CARモードを終了します。
2	**再生/一時停止**	音楽を再生または一時停止します。
3	**プレイリスト**	再生リストを表示します。
4	**画面回転**	水平モード/垂直モードに切り替えます。

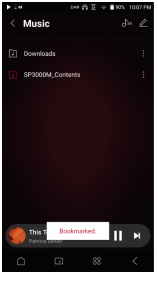
ブックマーク機能

画面の上部に表示する最大5つのフォルダーを選択できます。

ブックマークを設定する

1. プレイリスト内でフォルダーを選択して右の[⋮]をタップすると、ブックマークが追加されます。





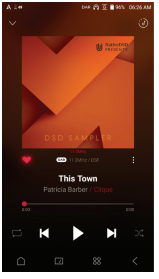
最大5つのブックマークを設定できます。

お気に入り機能

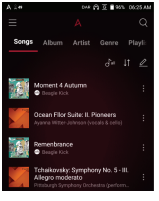
お気に入り機能を使用して、現在再生中の曲を独自のリストに追加できます。

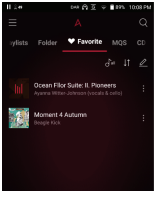
お気に入りの設定

1. 再生画面で[♥]をタップすると、現在の曲をお気に入りに追加したり、リストから削除できます。



2. ホーム画面から[左 ↔ 右]方向にドラッグして、メニュー一覧を表示します。
[お気に入り]を押すと、お気に入りの一覧が表示されます。





設定

設定メニューを使用して本製品をカスタマイズできます。
ファームウェアのバージョンによって、設定メニューが異なる場合があります。

設定

1. [メインメニュー - 設定] を選択するか、通知バーメニューの [⚙] を選択します。
2. 機能を選択して、設定オプションを表示します。

Wi-Fi

- Wi-Fi の設定を変更して、Wi-Fi をオンまたはオフにします。

> **Wi-Fi の設定方法については、本書の 56 ページを参照してください。**

Bluetooth

- Bluetooth をサポートするデバイスを使用してワイヤレスで音楽を聴くため、双方向 Bluetooth（RX/TX）を構成します。

> **Bluetooth 接続の設定方法については、57 ページの「Bluetooth を使用する」を参照してください。**

Bluetoothのコーデック

- Bluetooth が有効であるとき、該当するコーデックを設定できます。

> **変更して設定を適用するには、Bluetoothを再接続してください。**
> **コーデックが接続されたデバイスによりサポートされない場合、別のサポートされるコーデックを自動的に選択します。**

AK Connect

- AK Connectを有効または無効にします。

AK File Drop

- AK ファイルドロップを有効または無効にします。

Roon Ready

- Roon Readyを使用するか否かを設定します。

イコライザー

- お好みに合わせてイコライザーを設定してください。
  - ユーザー EQ: お好みに合わせて周波数を設定できます。

EQ の対応フォーマット: PCM [8 ～ 192kHz (8/16/24 ビット)]
イコライザーを使用すると、本製品の性能が低下する場合があります。
Wi-Fiを接続すると、予告なく他のイコライザがデフォルトで追加されることがあります。
イコライザーの使い方については、60 ~ 61 ページを参照してください。

Crossfeed

- ヘッドホンで聴いているのに、スピーカーで聴いているような感覚をお楽しみいただけます。
  - Shelf Cutoff、Shelf Gainの詳細設定をお好みに合わせて調整します。

Crossfeed対応フォーマット : PCM [8~192kHz (8/16/24bit)]

Digital Audio Remaster

- DARを有効にすると、PCMの曲を変換し、最高DSD256で再生できます。

MQRオーディオはDAR機能を適用しません。

DACフィルター

- DACの製造元により提供されるDACフィルターを設定します。

DAC フィルターは 24 ビット/192 kHz 以下の PCM フォーマットでのみ適用され、MQA および DSD フォーマットでは適用されません。

左右のバランス

- イヤホン/ヘッドホンの左右のバランスを調整します。

ギャップレス再生

- 次の曲を途切れなく再生できます。
  - ギャップレス再生を使用できるのは、2 つのファイルのビットレート、サンプリングレート、チャンネルが一致している場合に限られます。

ReplayGain

- ラウドネスレベルの音量レベルを設定することができます。

ライン出力

- ライン出力を有効にしたときに生成される電圧値を設定します。

ライン出力機能を有効にした場合には、イヤホンを使用しないでください。聴力を損なう可能性があります。

再生設定

- メニューから音楽を選択すると、再生時に曲を読み込む場所と方法が設定されます。

CD リッピング

- 自動 CD リッピング機能、ファイルフォーマット、リッピング速度を設定します。

USB モード

- メディアデバイス (USB ドライブ): 本製品をパソコンに接続すると、リムーバブルデバイスとして表示されます。
- DAC 入力: 接続されているパソコンから本製品に音声を出力します。

USB オーディオ

- USB オーディオ出力から、接続されているポータブル DAC に出力される DSD の出力タイプを選択します。

USB オーディオを使用している間、Bluetooth 機能は使用できません。

カーモード

- カーモードをオン/オフに切り替えます。
- デフォルトの画面モードを横向きまたは縦向きにします。

通知パネル

- 通知パネルの [クイック設定] ボタンを追加、削除、または再編成します。 アイコンをドラッグアンドドロップして、クイック設定ボタンを追加、または、希望の順番を変更します。

音量制限

- 音量が特定のレベルに達すると警告が表示され、関連するオプションが設定されます。

ディスプレイ

- 画面の明るさ: 画面の明るさを調節します。
- 画面をダブルタップしてスリープを解除します: オフの時には、画面をダブルタップしてデバイスのスリープを解除します。
- 画面のオン/オフ: 画面タイムアウト: 無操作状態が一定の時間継続すると、画面がオフになります。

日付と時刻

- 現在の日付と時刻を設定します。

デバイス名

- デバイス名を設定します。
  - 名前は 50 文字以下にしてください。

言語

- 表示言語を選択します。
  - 対応言語: 英語、韓国語、日本語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、スペイン語

入力方法

- キーボード: キーボードの言語を選択します。
  - 対応言語: 英語、韓国語、日本語、ロシア語

使用地域に応じてサポートしている言語が異なる場合があります。

電源とバッテリー

- 自動電源オフ: 本製品が動作していない状態でボタン操作をせずに一定の時間が経過すると、自動的にオフになります。
- 画面のオン/オフ: 画面タイムアウト: 無操作状態が一定の時間継続すると、画面がオフになります。
- スリープタイマーの設定: 一定の時間が経過した後、[自動電源オフ] で設定した時間に従って再生が停止し、デバイスがオフになります。

ダウンロード

- ダウンロード先のフォルダーを選択します。

AK Connect でファイルをダウンロードする場合の既定フォルダーが設定されています。
[フォルダーの選択] を選択すると、ファイルをダウンロードするたびに、ダウンロード先のフォルダーが確認されます。

システム情報

- システム情報: モデル番号、ファームウェアバージョン、データストレージの情報が表示されます。MicroSD カードの取り付け/取り外し、データの削除を行うことができます。
- 法的情報: オープンソースのライセンスと規定を確認してください。

MicroSD カードをフォーマットすると、メモリーカード上のすべてのデータが削除されます。フォーマットする前に、重要なファイルをバックアップしてください。
パソコンから MicroSD カードをフォーマットする場合には、FAT32 システムを選択してください。

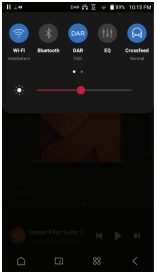
出荷時の設定に戻す

- DB の復元: 内部データベースをリセットします。データベースの初期化が完了するまでの時間は、本製品上のファイル数によって異なります。
- リセット: すべてのユーザー設定を出荷時の設定にリセットします。
- 出荷時の設定に戻す: すべてのユーザーデータを削除し、すべてのユーザー設定を既定の設定にリセットします。

Wi-Fi に接続する

ネットワークに接続する

1. 通知バーの [ ] を長押しするか、[メニュー - 設定 - Wi-Fi] を選択してアクセスポイント (AP) の一覧を表示します。



2. 必要な AP を選択して、無線ネットワークに接続します。
   - AP の設定によっては、キーインデックス、ネットワークキーなどの追加情報が必要になります。



ブラウザーまたは他の認証情報を必要とするネットワークには対応していません。
Wi-Fi チャンネル 1 ～ 13 に対応しています (ただし、FCC はチャンネル 12 と 13 には対応していません)。

Bluetooth を使用する

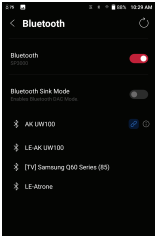
Bluetooth をサポートするデバイスを使用してワイヤレスで音楽を聴くため、双方向 Bluetooth（RX/TX）を構成します。

＊全てのBluetooth機器への対応は保証致しかねます。

Bluetooth をオン/オフにする

使用する前に Bluetooth 機器を本製品とペアリングする必要があります。
詳細については、Bluetooth 機器の手順書を参照してください。

1. ホーム画面で [ᛒ] を選択するか、[メニュー - 設定 - Bluetooth] で [オン/オフ] を選択します。

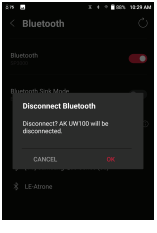


Bluetooth のペアリング

1. 使用可能な機器の一覧から適切な Bluetooth 機器を選択します。

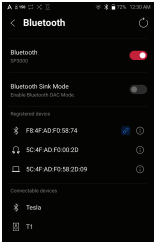
Bluetooth 接続を終了する

1. 接続中の Bluetooth 機器を押します。表示されたメッセージを確認して機器を切断します。



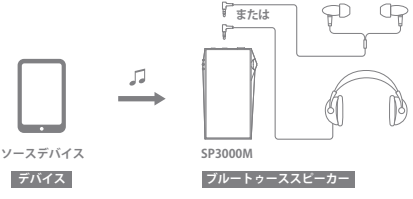
Bluetooth ペアリングを解除する

1. ペアリングしている機器の右側にある [ⓘ] を押して、設定に移動します。
2. [ペアリングの解除] を選択して処理を完了します。

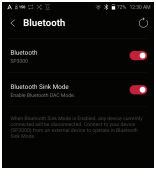


Bluetooth Sinkモードを使用する

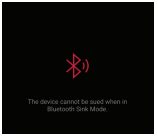
スマートフォンから Bluetooth スピーカーに接続する場合と同様に、外部デバイスから SP3000M に接続することで、外部デバイスで再生中の音楽を SP3000M で再生できます。



1. Bluetooth Sinkモードを有効にします。
2. 外部デバイスの Bluetooth メニューで SP3000M を検索し、接続します。



3. 接続されたデバイスで再生すると、
SP3000M から音楽が出力されます。



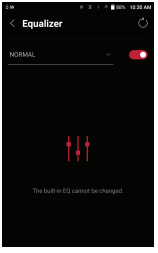
Bluetooth Sinkモードを有効にすると、現在接続されているすべてのデバイスが切断されます。
Bluetooth コーデックは、音楽を再生するソースデバイス上で設定できます。
Bluetooth 対応仕様
- **プロファイル: A2DP, AVRCP**
- **サポートされるコーデック: Qualcomm® aptX™ HD, LDAC, LHDC, AAC, SBC**
- **Hi-Res 再生時に機器のパフォーマンスが低下する場合があります。**

Bluetooth に接続している間は機器の電源を切らないでください。
問題が発生した場合は、Bluetooth 機器の電源をオフにし、再度オンにしてください。
ペアリングの方法は、Bluetooth 機器によって異なる場合があります。詳細については、機器のマニュアルを参照してください。
本製品と Bluetooth 機器を接続する場合、接続距離は 20cm 以内でなければなりません。
距離が長くなると音質が低下します。距離が 2m (6.5ft.) 以上になると、ペアリングが解除される場合があります (この距離は機器と環境によって変わります)。
Bluetooth の使用中に混信が発生する場合があります。
マルチポイント機器の場合には、使用前に必要な接続を行ってください。
一部の機能には対応していない場合があります。また、再生品質が異なる場合もあります。
バッテリーの残量や環境によっては、誤動作やノイズなどの不具合が発生する場合があります。
- **信号がデータ伝送に干渉することがあります (たとえば、Bluetooth 機器の装着時に本製品を手で持っていたり、本製品を一方の手で持ち、もう一方の手で別の機器を持っている場合)。**
- **体の一部が触れると、本製品または Bluetooth ヘッドセットの無線送信機に影響を及ぼします。**
- **無線接続は、壁や間仕切りなどの障害物の影響を受けます。**
- **同じ周波数帯の機器の近くで使用すると、干渉が発生します (医療機器、電子レンジ、Wi-Fi など)。**
- **干渉の大きい場所や電波の弱い場所 (エレベーターの中や地下など)では接続できないことがあります。**

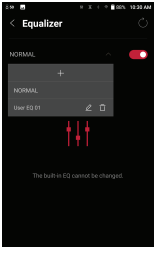
イコライザーの設定

イコライザーの設定

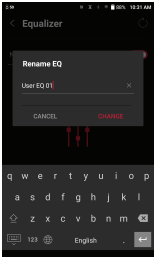
1. 通知バーの [ ] を長押しするか、[メニュー - 設定 - イコライザー] で機能を有効にします。



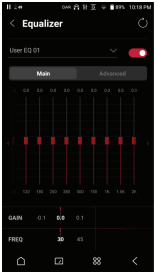
2. [Normal EQ] を押して、[+] を選択します。



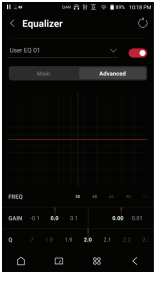
3. カスタム EQ 設定の名前を入力して、[保存] を選択します。



4. お好みに合わせて周波数を調整します。
5. 画面左下隅にある数字で微調整を行います。



6. 上部の [詳細設定] タブを押して、PEQ 設定画面を表示します。
周波数/ゲイン/Q を調節します。



安全上のご注意

製品本体

- イヤホン、アンバランス端子、USB ポートにプラグを差し込むときに、プラグを引っ張ったり、衝撃を与えないでください。
- 本製品に金属物 (硬貨、ヘアピンなど) や可燃性物質を挿入しないでください。
- 本製品の上に重い物を載せないでください。
- 本製品が雨、水、化学薬品、医薬品、化粧水、汗などで濡れた場合、製品の電源を入れずに、完全に乾かしてください。お近くのカスタマーサービスセンターに連絡してください。(浸水による故障は、品質保証期間に関わらず修理代金が発生します。また、修理できないこともあります。)
- 極端な温度の場所で本製品を放置しないでください (動作温度は 0℃ ～ +40℃ です)。
- 高温で湿気の多い場所 (サウナなど) で本製品を使用したり、放置しないでください。
- 埃、ちり、煙が多い場所に本製品を放置しないでください。
- 毛布、電気毛布、ホットカーペット上で本製品を長時間使用しないでください。
- 火気の近くや電子レンジ内に本製品を置かないでください。
- 本製品の分解、修理、改造をしないでください。
- 本製品の電源を入れたまま、密閉空間に長時間放置しないでください。
- 磁気の強い物体 (磁石、TV、モニター、スピーカーなど) の近くに本製品を置かないでください。
- 本製品に化学薬品や洗浄剤を使用しないでください。変色したり、表面のコーティングが剥がれる可能性があります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃 (過度な振動など) を与えないでください。
- 複数のボタンを同時に押さないでください。
- データの転送中は Type-C USB ケーブルを取り外さないでください。

- USB Type C ケーブルを接続する場合には、PC の背面にある USB 端子に接続してください。故障または破損している USB ポートに接続すると、本製品が損傷する可能性があります。
- 故障または破損している USB ポートに接続すると、本製品が損傷する可能性があります。
- 長時間同じ画像を表示していると、画面の焼き付きが生じる可能性があります。
- 品質の悪い保護フィルムや粘着性のステッカーを使用すると、画面が傷つく可能性があります。
- イヤホンポートに異物を挿入しないでください。
- 再生中にデバイスの充電を行うと、高温になる場合があります。取り扱いには十分に注意してください。
- 本製品の角が尖っている場合があります。取り扱いには十分に注意してください。

その他

- 乗り物の運転中に本製品でヘッドホン/イヤホンを使用しないでください。危険なだけでなく、地域によっては違法行為となる場合があります。
- 運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。
- 事故防止のため、本製品を危険な場所では使わないでください。
- 移動時に本製品を使用するときは、周囲に注意してください。
- 感電の危険性を防ぐため、激しい雷雨のときは本製品を使用しないでください。
- 本製品の使用中または使用後すぐに耳鳴りがした場合には、音量を小さくするか、本製品の使用を止めて医師に相談してください。
- 大音量で長時間音楽を聴かないでください。
- 大音量でイヤホン/ヘッドホンを使用しないでください。
- イヤホン/ヘッドホンが他の物体にはさまったり、絡まったりしないように注意してください。
- イヤホンをしたまま寝ないでください。また、イヤホンを長時間使用しないでください。

トラブルシューティング

一般的な問題の解決策を確認してください。

1. 本製品の電源がオンにならない。
   - バッテリーの充電が必要な可能性があります。本製品を 1 時間ほど充電してから、もう一度やり直してください。
   - 本製品をリセットして、もう一度やり直してください。(5 ページを参照)
2. USB ケーブルでパソコンに接続しても本製品が充電されない。
   - Type-C USB ケーブルで PC に接続してください。
     PC の状態によっては充電できない場合があります。
     (PC での充電はおすすめしません。アダプターを使用してください。)
   - Type-C USB ケーブルを使用してアダプタを選択してください。
3. パソコンが本製品を認識しない。接続時にエラーが発生する。
   - パソコン背面の USB ポートを使用してください。
   - Type-C USB ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
   - 本製品を別のパソコンに接続し、認識されるかどうか確認してください。
4. 画面が頻繁にオフになる。
   - バッテリーの消費を抑えるため、一定の時間が経過すると画面が自動的にオフになります。[メニュー - 設定 - ディスプレイ - 画面オフ] の順に選択して、時間を設定してください。
5. 画面が正しく表示されない。
   - 画面上に異物が付着していないかどうか確認してください。
6. 音が出ない。または雑音が発生する。
   - 音量の設定を [0] より大きくしてください。
   - イヤホンが正しく接続されているかどうか確認してください。
     また、ポート接続部に異物があるかどうか確認してください。
   - 音楽ファイルが壊れていないかどうか確認してください。
   - オーディオの設定が適切かどうか確認してください。
     (バランス出力、ライン出力など)。

7. ファイルが再生されない。または、一部のファイルで本製品の動作が不安定になる。
   - ファイルの状態によっては、次のことが発生する場合があります。
     - 再生が不安定、または再生できない。
     - 本製品の動作が普段と異なる。
     - ファイルの音質がパソコンと異なる。
     - 再生機能と他の機能で性能が異なる。
     - 再生スペックに差異が生じる。
   - ファイルを変換するか、別のファイルを使用してください。

著作権

Dreamus Company は、本取扱説明書に関連する特許、商標権、著作権、その他の知的財産権を保有しています。
事前に Dreamus Company の同意を得ずに本取扱説明書の内容を一部コピーしたり複製したりすることを禁じます。
一部かすべてかを問わず、本書の内容を複製または転用した場合、処罰の対象になります。
ソフトウェア、オーディオ、ビデオ、著作権で保護されたコンテンツは、関連する著作権法で保護されています。
本製品の著作権で保護されたコンテンツを許可なく転用または配布した場合、法的責任が問われます。
サンプルで使用している会社、組織、製品、人物、イベントはすべて架空のものです。
Dreamus Company には、本ユーザーガイドにより如何なる会社、組織、製品、個人、エピソードとの関係を示す意図はなく、そのような関係を暗示させる意図もありません。
本書の利用者は、準拠する著作権法を遵守しなければなりません。
Copyright © Dreamus Company. All Rights Reserved.

認証

KC / FCC / CE / TELEC
クラス B デバイス (住宅用情報/通信機): これは、クラス B デバイスとして登録され、住宅用の EMC 要件を満たしています。このデバイスは、住宅市街地以外の場所でも使用できます。

FCC ID: QDMPPF43
本製品は FCC 規定パート 15 に準拠しています。本製品の動作は以下の 2 つの条件を満たしています。(1) 有害な電波干渉を引き起こさない。(2) 望ましくない動作の原因となりうるものを含め、受信した電波干渉のいっさいを受け入れなくてはならない。

FCC Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

Instruction of E-Label

[設定 - システム情報 - 規制]で、KC/FCC/CE/TELEC認定に関する情報を確認してください。

(b) For a Class B digital device or peripheral, the instructions furnished to the user shall include the following or similar statement, placed in a prominent location in the text of the manual: NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment o☒and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Body-Worn Operation
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the portable music player kept 5mm from the body. To maintain compliance requirements, use only belt-clips, holsters or similar accessories that maintain a 5mm separation distance between the user's body and the back of the portable music player, including the antenna. The use of belt-clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with CE RF exposure requirements and should be avoided.
Body-worn accessory exposure conditions "Specific information must be included in the operating manuals to enable users to select body-worn accessories that meet the minimum test separation distance requirements. Users must be fully informed of the operating requirements and restrictions, to the extent that the typical user can easily understand the information, to acquire the required body-worn accessories to maintain compliance. Instructions on how to place and orient a device in body-worn accessories, in accordance with the test results, should also be included in the user instructions. All supported body-worn accessory operating configurations must be clearly disclosed to users through conspicuous instructions in the user guide and user manual to ensure unsupported operations are avoided. All body-worn accessories containing metallic components must be tested for compliance and clearly identified in the operating manual. The instruction must inform users to avoid using other body-worn accessories containing metallic components to ensure RF exposure compliance."

登録商標

Windows 10、Windows11、Windows Media PlayerはMicrosoft Corp の登録商標です。

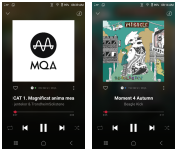
LDAC

LDAC and LDAC logo are trademarks of Sony Corporation.

Qualcomm® aptX™ Adaptive

Qualcomm aptXは、Qualcomm Technologies, Inc.および/またはその子会社の製品です。
Qualcommは、Qualcomm Incorporatedの商標であり、米国および他国において登録されています。
aptXは、Qualcomm Technologies International, Ltd.の商標であり、米国および他国において登録されています。

MQA (Master Quality Authenticated)
The SP3000M includes MQA technology, which enables you to play back MQA audio files and streams, delivering the sound of the original master recording.
The SP3000M LED glows green or blue to indicate that the unit is decoding and playing an MQA stream or file, and denotes provenance to ensure that the sound is identical to that of the source material. It glows blue to indicate itis playing an MQA Studio file, which has either been approved in the studio by the artist/producer or has been verified by the copyright owner.
MQA is an award-winning British technology that delivers the sound of the original master recording. The master MQA file is fully authenticated and is small enough to stream or download. Visit mqa.co.uk for more information.
Astell&Kern SP3000M includes MQA technology, which enables you to play back MQA audio files and streams, delivering the sound of the original master recording. The SP3000M Now Playing status shows a green or blue light to indicate that the unit is decoding and playing a MQA stream or file, and denotes provenance to ensure that the sound is identical to that of the source material. A blue light indicates it is playing a MQA Studio file, which has either been approved in the studio by the artist/producer or has been verified by the copyright owner.
MQA and the Sound Wave Device are registered trademarks of MQA Limited.© 2016



免責事項

製造業者、輸入業者、代理店は、本製品の不適切な使用および操作に起因する怪我や事故を含む損害に対し、責任を負いません。
本書の情報は、最新の製品仕様に基づいて作成されています。
製造元である Dreamus Company は新しい補完機能を開発中で、引き続き新しい技術を採用していく予定です。
すべての仕様は事前の通知なく変更されることがあります。
弊社は、本製品の使用に起因するデータの消失に対して一切責任を負いません。

本製品は、通常の利用条件において、人体から 5mm 以上離して使用してください。

安全性が保証され、定格が 15 ワット以下のアダプタのみを使用してください。

仕様

General Specifications	
Product Name	SP3000M
Model	PPF43
Body Color	Rich Gray
Body Material	Aluminum
Display	4.1inch HD 720 x 1280 touch screen
Supported Audio Formats	WAV, FLAC, WMA, MP3, OGG, APE, AAC, ALAC, AIFF, DFF, DSF
Sample rate	PCM : 8kHz – 768kHz (8/16/24/32bits per Sample) DSD : DSD64(1bit 2.8MHz), Stereo / DSD128(1bit 5.6MHz), Stereo / DSD256(1bit 11.2MHz), Stereo / DSD512(1bit, 22.4MHz), Stereo
Output Level	Unbalanced 3.3Vrms | Balanced 6.3Vrms (Condition No Load)
CPU	Quad-core
DAC	AKM AK4191EQ x2 & AK4499EX x4
Decoding	Support up to 32bit / 384kHz playback
Input	USB Type-C input (for charging & PC & MAC)
Outputs	Unbalanced Out (3.5mm), Balanced Out 4.4m (only 5-pole supported)
Wi-Fi	802.11 a/b/g/n/ac (2.4/5GHz)
Bluetooth	V5.0 (A2DP, AVRCP, Qualcomm® aptX™ HD, LDAC, LHDC)
Dimensions	2.72" (69.1mm)(W) x 4.70" (119.6mm)(H) x 0.74" (18.8mm)(D)
Weight	Aluminum about 8.36oz (237g)
Feature Enhancements	Firmware upgrade supported (OTA)
Operating Temperature	0℃ – + 40℃ (32°F – 104°F)
Audio Specifications	
Frequency Response	±0.020dB (Condition : 20Hz–20kHz) Unbalanced | ±0.025dB (Condition : 20Hz–20kHz) Balanced ±0.032dB (Condition : 20Hz–70kHz) Unbalanced | ±0.025dB (Condition : 20Hz–70kHz) Balanced
S/N	126dB @ 1kHz, Unbalanced | 130dB @ 1kHz, Balanced
Crosstalk	-140dB @ 1kHz, Unbalanced | -144dB @ 1kHz, Balanced
THD+N	0.0005% @ 1kHz, Unbalanced | 0.0003% @ 1kHz, Balanced
IMD SMPTE	0.0004% 800Hz 10kHz (4:1) Unbalanced | Balanced
Output Impedance	Unbalanced Out 3.5mm (0.6ohm) | Balanced Out 4.4mm(1.2ohm)
Clock Source	
Clock Jitter	25pS (Typ)
Reference Clock Jitter	200 Femto Seconds
Storage Capacity	
Built-in Memory	256GB (NAND)
External Memory	microSD x1 (Max. 1.5TB)
Battery	
Capacity	4,200mAh 3.8V Li-Polymer
Charge Time	about 3.5hours (QC3.0 Charging)
Playback Time	about 10hours (Standard : FLAC, 16bit, 44.1kHz, Vol.80, LCD Off, Low Gain)
Supported OS	
Supported OS	Windows 10,11(32/64bit) MAC OS X 10.7